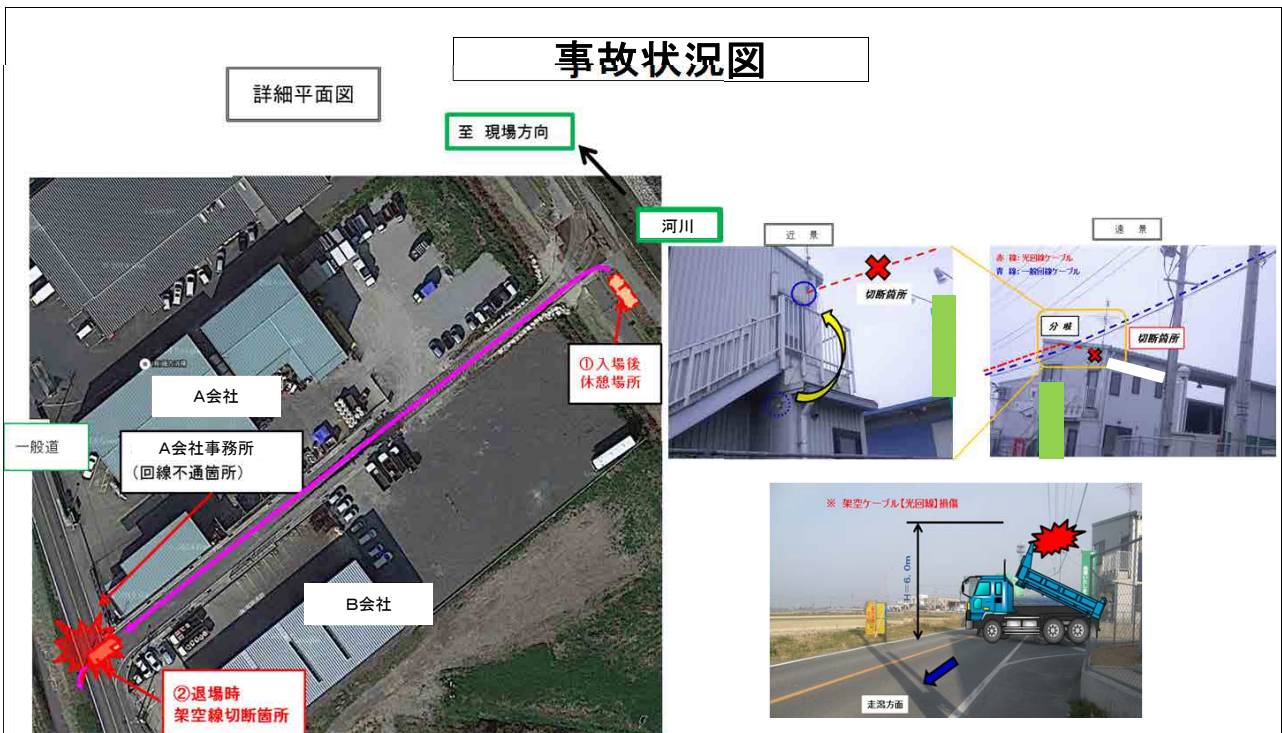


事故種類	労働災害	発生日時	平成27年6月13日 12時20分	事故当事者	二次下請け
事故区分	公衆災害	年齢性別	40歳 男性	職種	ダンプトラック運転手
被災程度(全治)	NTT光回線の引き込み線 (影響1件)				
事故概要	昼休命中、工事用の運搬ルートとして使用していた堤防天端上にて、ダンプトラック荷台に降雨が滞留しないよう荷台を上げた状態で休憩していたダンプ運転手が、コンビニエンスストアに行くためダンプを走行させ、進入した市道 上のNTT光回線引き込みケーブルを切断し、1事業所のNTT光回線通信が不通となった。				
事故原因等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 運転手が、運転開始前の車両の点検を行わず、荷台を上げた状態で走行させた。 2. 休憩時なので、PTOスイッチを切っていたため、荷台上昇時の警報装置が作動せず、ダンプアップ中ということに気づかなかった。 3. 施工計画書の記載や高さ制限装置等の設置、定期的な点検・教育を実施していたが、当日の運転手へのKY活動において、架空線対策についての安全教育が無かった。 4. 昼休み中であったため、切断した架空線付近の交通誘導員が居なかった。 				
改善策等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 車両発進時の点検(運転者) <ul style="list-style-type: none"> ・ダンプトラック運転者には、作業開始前の点検だけでなく、車両発進時にも車を降りて車両(荷台・タイヤ等)の状態確認を行うよう再度徹底させる。 2. 安全教育の徹底(下請業者、元請業者) <ul style="list-style-type: none"> ・ダンプトラック運転者に対しては、必ず作業前のKY活動時に「発進時にも車を降りて車両の確認をすること」や「荷台上昇時にはPTOを切らないこと」について、毎回周知徹底する。また、従来どおり元請業者がKY活動の報告を受け内容の確認を行い適宜指導する。 ・見えるかシールを作成し、各ダンプトラックに「発進時の車両の確認や荷台上昇時にはPTOを切らないこと」の周知事項や禁止事項を張り、更なる意識向上を図る。 3. 車両の監視(元請業者) <ul style="list-style-type: none"> ・車両監視員(元請業者)を工事用道路出口付近に配置し、場内台数の把握及び車両点検を作業開始時から作業完了まで常時行う。車両は監視員の前で一旦停止し車両の状態の確認を受けた後、発進させる。車両に異常があれば即時対応する。 4. 高さ制限柵、看板の設置(元請業者) <ul style="list-style-type: none"> ・工事用道路出口に門型の高さ制限柵と今回切断した架空線付近に架空線注意の看板を追加設置する。 				
類似工事(他工事)へ活用できる対策等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 安全教育の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・監督職員等は、架空線上空施設への接触・切断事故防止に関する特記仕様書等の明示内容について施工計画書への記載、点検内容等を確認し、元請業者へ明示内容の遵守を再指導する。 ・元請業者及び下請業者は、全てのダンプトラック運転者に対して、必ず作業前のKY活動時に「発進時にも車両の確認(荷台等)をすること」や「荷台上昇時にはPTOを切らないこと」について周知徹底させる。 2. 注意喚起 <ul style="list-style-type: none"> ・6/15緊急現場代理人会議にて周知注意喚起を実施。 ・6/16朝会にて報告すると共に監督職員に周知注意喚起を実施。 				



事故種類	公衆災害	発生日時	平成27年 6月24日13時15分	事故当事者	—
事故区分	機器取扱	年齢性別	—	職種	—
被災程度(全治)	九州電力発電装置の停止				
事故概要	<p>選択取水設備の点検・清掃作業において、落下防止用ナイロンメッシュネットを撤去する作業時に、そのネットが落下し、貯水池水面下に流失した(6月24日13時15分)。</p> <p>このため選択取水設備及びその周辺を潜水夫により探索したが見つからず、利水者が発電を停止して放流管内部の水を抜いて点検を行い、ネットは、発電機室水車部で確認された。</p> <p>その後、発電設備の安全確認を行い、発電の正常運転を再開したが、当該事故によって発電運転停止、並びに、発電停止間の維持流量確保及び貯水位維持のためのゲート放流操作が行われた。</p>				
事故原因等	<p>落下防止用ナイロンメッシュネットの撤去における吊り上げ作業の際、選択取水施設の下部整流板上端にネットが引っ掛かり、吊り上げていたロープが断裂したため、ネットが貯水池水面に落下した。</p>				
改善策等	<ol style="list-style-type: none"> 1. ネットの引っ掛かり防止策は、ネットを袋詰め、又は、まとめて縛る等により広がりを防止する。 2. 吊り上げロープの断裂防止策は、繊維ロープより強靱なワイヤーロープを使用する。 3. 水面下に沈ませない工夫として、浮子を装着する、又は、控えロープを装着する。 				
類似工事(他工事)へ活用できる対策等	<p>貯水池内の高所にて行う作業について、落下防止の徹底を図る。また、安全協議会等を通じて事故防止の指導を行う。</p>				

事故状況図

落下防止ネット展開標高 約 EL243.0

10m×3～4m：2枚

作業時ダム水位
約 EL.237.3

ネットの引っかかり発生原因と
推定される箇所

ネット収納状況

事故時吊り上げ状況
広げたままのネットが下部整流板に引っかかり、
ロープ切断。ダム湖へ落下した。

改善策

入口を縛る

浮子

大型土のう袋

落下防止ネット

φ900mm

吊り上げ改善方法
土のう袋(0.5t バッグ)へネット及び浮子を収納し、
落水時にもダム湖へ沈没しないよう対策をとる。